

令和元年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書

令和2年8月

坂戸市教育委員会

目 次

| | |
|---------------------|----|
| ◆ 点検及び評価の趣旨等 | 1 |
| 1 点検及び評価の趣旨 | 1 |
| 2 点検及び評価の対象等 | 1 |
| 3 点検及び評価の方法 | 1 |
| 4 点検及び評価の構成 | 1 |
| ◆ 令和元年度分対象事業の点検及び評価 | 3 |
| 基本計画 学校教育 | 3 |
| 基本計画 社会教育 | 7 |
| 基本計画 青少年の健全育成 | 10 |
| 基本計画 文化の振興・保護 | 11 |
| 基本計画 スポーツ・レクリエーション | 13 |
| 総合教育会議等の状況 | 16 |
| ◆ 結びに | 22 |

◆ 点検及び評価の趣旨等

1 点検及び評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会は、毎年、学識経験を有する者の知見を活用して、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないことになっています。

本市教育委員会は、法の趣旨にのっとり、効果的な教育行政の推進に資するため、教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価を実施し、毎年その結果を報告書にまとめています。

2 点検及び評価の対象等

教育委員会の事務事業は、本市の第6次坂戸市総合振興計画（平成24年度から令和4年度まで）に基づき実施されています。

教育委員会の事務事業に係る点検及び評価の対象事業については、第6次坂戸市総合振興計画の「学校教育」、「社会教育」、「青少年の健全育成」、「文化の振興・保護」及び「スポーツ・レクリエーション」に関し、教育委員会が所管する事務事業を対象とし、新規事業、重点的に取り組んだ事業及び数年周期のローテーションにより順次点検している事業の中から事務事業を選定し、点検及び評価を行いました。また、総合教育会議の開催状況の一覧表等を作成しました。

3 点検及び評価の方法

(1) 点検及び評価の客観性を確保するため、外部評価委員として教育に関し学識経験を有する外部の方を委嘱し、その知見を活用しました。

(2) 点検及び評価に当たっては、令和元年度の19事務事業について目的、実施状況、成果等について自己評価を行い、事務事業評価シートを作成しました。

次に、各課長等から外部評価委員に、事務事業評価シートに基づき説明等を行い、その後、外部評価委員から、外部評価に関する報告書をいただきました。

4 点検及び評価の構成

(1) 基本計画

第6次坂戸市総合振興計画の「学校教育」、「社会教育」、「青少年の健全育成」、「文化の振興・保護」及び「スポーツ・レクリエーション」に分類しました。

(2) 施策の方針

基本計画の施策の方針を掲載しています。

(3) 令和元年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

令和元年度に実施した主な事務事業の目標、実績、評価等を掲載しています。

ア 指標に対する達成度

個々の事務事業に対して指標を設定し、令和元年度の目標とその実績としての達成率等を掲載しています。

イ 外部評価

(ア) 項目別評価

次の表の項目別の評価を掲載しています。

| |
|---|
| ○必要性・・・「高い」：「検討の余地有」：「低い」 (・市民ニーズに対応しているか。・行政関与の必要性はあるか。) |
| ○有効性・・・「高い」：「高める余地有」：「低い」 (・目的とした効果はあるか。) |
| ○効率性・・・「効率的である」：「高める余地有」：「効率的ではない」 (・コスト面・業務面等効率的に執行されているか。・民間委託や他事業の統合・連携が可能か。) |
| ○方向性・・・「見直し(改善・効率化、縮小、統合、拡充)」：「継続」：「終了」：「休止」：「廃止」 |

(イ) 外部評価委員からの主な意見

外部評価委員の方々からいただいた御意見について、事業ごとに掲載しています。

(ウ) 外部評価をしていただいた外部評価委員は、次のとおりです。(敬称略)

○渡 邊 庸 久 (元毛呂山町教育委員会教育長)

○志 賀 康 子 (元坂戸市子ども会育成会連絡協議会会長)

◆ 令和元年度分対象事業の点検及び評価

基本計画 学校教育

施策の方針

- 1 教育内容の充実
「確かな学力」「健康・体力」「豊かな人間性」を基盤とする「生きる力」を育む教育を充実します。
- 2 教育環境の整備
安心して学習、学校生活が送れるよう、より良い教育環境の整備に努めます。
- 3 教育の機会均等の確保
教育の機会均等、有能な人材の育成等を図るため、幼稚園、小中学校、高等学校、大学及び専修学校への入学または就学に係る費用等を負担する保護者に援助します。

令和元年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

1 教育内容の充実

| 事業名 | 不登校解消事業 | | 所管 | 学校教育課 |
|---|--|-----|---------------------|-------|
| 事業内容 | 適応指導教室を設置し、教育相談員や学校と連携して児童生徒の自立、社会生活への適応及び学校復帰を支援します。各中学校にさわやか相談員を配置し、生徒や保護者からの相談に対応します。また、いじめ・不登校対策委員会を開催し、不登校の実態把握と問題解決に向けた調査研究に取り組みます。さらに、児童生徒の実態に応じた支援を行うため、教育相談員等の研修会を実施し、その資質の向上を図ります。 | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | |
| いじめ・不登校対策委員会開催回数 | 5回 | | 5回 | |
| 不登校児童生徒の在籍率 | 小学校 0.51%・中学校 3.93% | | 小学校 0.38%・中学校 3.64% | |
| 指標に対する達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校対策委員会開催回数：100% ・不登校児童生徒の在籍率：小学校 目標より0.13%減少 中学校 目標より0.29%減少 | | 目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】不登校児童生徒数の減少と不登校の未然防止のため、引き続き家庭及び学校との連携を図ります。また、市の福祉部局やその他の関係機関とも協力して、不登校児童生徒それぞれに応じた対策や支援を行います。 | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | 継続 |
| 【外部評価委員からの主な意見】不登校児童生徒の発生は様々な要因が考えられますが、早期に発見して対応できるような環境づくりのため、適応指導教室の活用及びさわやか相談員等との更なる連携を図り、不登校児童生徒数の減少を図っていただきたいと思います。 | | | | |

| | | | | |
|-----------|---|--------|---------------|-------|
| 事業名 | 学校給食調理業務委託事業 | | 所管 | 教育総務課 |
| 事業内容 | 市の学校給食の特徴である自校調理方式を効率的に継続するために民間委託を導入しています。 | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | |
| 民間委託実施校 | 15校 | | 15校 | |
| 実施率 | 83% | | 83% | |
| 指標に対する達成度 | ・民間委託実施校：100% ・実施率：100% | | 目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】自校調理方式は、市の学校給食の特徴であり、食育の面でも大きな成果を上げています。自校調理方式を継続実施する上で、本事業は必要不可欠な事業と考えます。今後の学校給食の在り方については、適温給食を維持して質・味を守り続けるよう自校調理方式を基本としますが、施設の維持管理等を踏まえ、近隣市の現状や施設の共同化を研究する必要があります。 | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 |
| | 高い | 高める余地有 | 効率的である | 継続 |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】自校調理方式は、市の学校給食の特徴であり、大きな成果を上げ、保護者や児童生徒からの信頼も厚いです。学校給食は、食育の面で成長期にある児童生徒の健康増進に大いに影響するものと思います。今後も質や味を守り続けるよう、施設の適切な維持管理をし、親子方式等の効率的な運営の研究を重ねていただきたいと思います。 | | | |

| | | | | |
|--------------|--|-----|-------------------|-------|
| 事業名 | 英語指導推進事業 | | 所管 | 学校教育課 |
| 事業内容 | 13人の英語指導助手を幼稚園や小中学校に派遣します。小中学校では、日本人教員と英語指導助手のチームティーチングによる指導を行い、幼稚園では、楽しみながら英語に慣れ親しむ活動を行っています。小学校中学年では、外国語活動支援員が外国語活動の授業をサポートします。また、英語を使ってコミュニケーションを取ることを楽しめる児童の育成に向け、小学6年生を対象に1泊2日のイングリッシュキャンプを実施しています。実用英語技能検定（英検）の受験者2,627人に対し、検定料を補助しています。 | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | |
| 英語指導助手派遣日数 | 2,340日 | | 2,319日 | |
| 外国語活動支援員勤務日数 | 600日 | | 592日 | |
| 指標に対する達成度 | ・英語指導助手派遣日数：99.10% ・外国語活動支援員勤務日数：98.67% | | おおむね目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】外国語科において、コミュニケーション能力の向上は、重要な課題です。学校生活の中で、児童生徒が英語指導助手や外国語活動支援員の英語により多く触れることは、コミュニケーション能力の向上に効果があります。また、全ての中学生が実用英語技能検定（英検）を受験する機会を設けることは、英語学習に対する意欲を高める一助となることから、引き続き必要な事業であると考えます。 | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | 継続 |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】児童生徒が英語指導助手や外国語活動支援員の英語により多く触れることで、外国語や外国の文化について体験的理解を深めるとともに、学習意欲を高め、国際感覚を肌身に感じることと思います。これにより、視野を広げ、グローバル社会でも臆することなくコミュニケーションを取ることができると期待します。また、全ての中学生が公費により実用英語技能検定（英検）を受験することは、保護者の経済的負担を軽減し、生徒の英語力が客観的に測定できるため効率的であり、かつ、平等に受験できる機会として有効性が高いと思います。 | | | |

| | | | | | |
|------------|---|--------|---------------|-----|-------|
| 事業名 | 学校コンピュータ整備事業 | | | 所管 | 学校教育課 |
| 事業内容 | 学習活動に支障を来さないよう、機器及びソフトウェアの保守のほか、インターネット接続環境の整備を図ります。また、普通教室等においてもタブレットを使用したプログラミング教育等ができるよう、モデル校として、小中一貫教育校である城山小・中学校（城山学園）に校内無線LANを設置しています。 | | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | | |
| 校内無線LAN整備率 | 11% | | 11% | | |
| 1台当たり児童生徒数 | 11人 | | 11人 | | |
| 指標に対する達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内無線LAN整備率：100% ・1台当たり児童生徒数：100% | | 目標どおり達成できました。 | | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】計画どおりに実施できています。今後は、文部科学省の示すGIGAスクール構想（校内無線LANと児童生徒1人1台の学習用端末の整備）の実現に向けて、事業の拡充を図っていきます。 | | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 | |
| | 高い | 高める余地有 | 高める余地有 | 拡充 | |
| | 【外部評価委員からの主な意見】急速に進むIT社会に対応するため、また、新型コロナウイルス感染症の拡大による学校閉鎖により、オンライン授業等が全国的に推進されつつあるため、児童生徒の情報教育は重要な課題であり、改善は急務です。市としても、積極的にコンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用できるよう、学習環境の整備がなされることを望みます。城山学園に設置した校内無線LANについて市内全校での早急な設置が必要と考えます。また、情報モラル教育を家庭や地域にも広めていくことを望みます。 | | | | |

| | | | | | |
|-------------|---|-----|-------------------|--------|-------|
| 事業名 | 市立幼稚園園児送迎バス運行事業 | | | 所管 | 教育総務課 |
| 事業内容 | 市立幼稚園に通園する園児に対し、登園・降園時の安全確保と通園の便に供するため、送迎バスの運行业務を委託します。送迎バス1台により、市内を2コースに分けて運行しています。 | | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | | |
| 送迎バス台数 | 1台 | | 1台 | | |
| 利用者（年間延べ人数） | 484人 | | 429人 | | |
| 指標に対する達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・送迎バス台数：100% ・利用者（年間延べ人数）：89% （1日最大乗車者数：39人） | | おおむね目標どおり達成できました。 | | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】市立幼稚園の園児の登園・降園時における安全確保と通園の便に供するため、送迎バスの運行は引き続き必要と考えますが、今後の市立幼稚園の運営や在り方と併せて業務の改善及び検討が必要です。 | | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 | |
| | 高い | 高い | 高める余地有 | 改善・効率化 | |
| | 【外部評価委員からの主な意見】市立幼稚園の運営、在り方等を考えると、大変困難な時代と思います。送迎バスの運行は、市内全域からの通園を可能にし、大変有り難いものと思います。一方で、近年の園児減少により、費用対効果の低下も考慮して、利用料金の改定は致し方がなく、幼稚園の運営等と併せて検討が必要と考えます。 | | | | |

| | | | | |
|-----------|---|-----|------------------|-------|
| 事業名 | 学校応援団推進事業（小学校・中学校） | | 所管 | 学校教育課 |
| 事業内容 | 各小中学校で、地域住民や保護者が参加して学校応援団を組織しており、今後も学校・家庭・地域の連携を推進し、様々な体験、交流及び学習活動を通じて、児童生徒の社会性、自主性及び創造性の向上を目指します。また、学校の活性化や地域社会の教育力の向上を目指し、教育支援活動の充実を図ります。 | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | |
| 活動回数 | 3,570回 | | 4,074回 | |
| 指標に対する達成度 | ・活動回数：114.1% | | 目標を上回る達成度となりました。 | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】学校・家庭・地域の連携を推進し、様々な体験、交流及び学習活動を通じて、児童生徒の社会性、自主性及び創造性を高め、学校の活性化や地域社会の教育力の向上を図ることは、有意義なことです。この事業を継続・充実させることは必要と考えます。 | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | 継続 |
| | 【外部評価委員からの主な意見】地域住民や保護者が学校応援団として、学校での体験、交流及び学習活動を支援することは、学校の活性化、地域社会の教育力の向上並びに児童生徒の社会性、自主性及び創造性を高め、有意義なことであると思います。 | | | |

2 教育環境の整備

| | | | | |
|-----------|---|-----|---------------|-------|
| 事業名 | 学校エアコン整備事業 | | 所管 | 教育総務課 |
| 事業内容 | 教育環境の向上のため、小中学校の普通教室及び中学校の特別教室にリースエアコンを設置しています。なお、一時的な学級増については、レンタルエアコンを設置して対応しています。また、小中学校の屋内運動場用には冷風送風機を各1台購入しています。 | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | |
| 設置を要する教室 | 433室 | | 433室 | |
| 整備率 | 100% | | 100% | |
| 指標に対する達成度 | ・設置を要する教室：100% ・整備率：100% | | 目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】学校施設における夏季の高温対策として、小中学校の普通教室と中学校の特別教室にエアコンを設置することができたことに意義があると考えます。今後は、小学校の特別教室へのエアコンの設置について検討する必要があると考えます。 | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | 継続 |
| | 【外部評価委員からの主な意見】近年、地球温暖化に伴い、夏季の気温は異常に高くなっており、児童生徒の学習環境を良好に保つためには、エアコンの設置は必須です。また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で夏休みが少なくなったことにより夏季の登校も増え、これによる児童生徒の健康を懸念していましたが、早期のエアコン設置ができており安心してしています。今後は、小学校の特別教室へのエアコンの設置を強く望みます。 | | | |

基本計画 社会教育

施策の方針

1 生涯学習社会の構築

市民自ら適切な学習機会を選択し、自主的な学習ができるよう、学習情報の収集・提供及び学習相談体制の整備を図り、学習成果を生かした生涯学習によるまちづくりを推進します。

2 社会教育の充実

社会教育施設の整備・充実を図るとともに、学校教育との連携を強化し、学びの機会を拡充します。

3 公民館等の充実

市民の学習ニーズに即した公民館等事業を推進するとともに、クラブ、サークル等の支援・育成を行います。

4 図書館の充実

社会の様々な変化に伴い高度化及び多様化する市民の学習要求や課題解決に適切に対応するため、図書館の充実を図ります。

令和元年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

1 社会教育の充実

| 事業名 | 公民館施設整備事業 | | | 所管 | 中央公民館 |
|-----------|--|-----|---------------|-----|-------|
| 事業内容 | 老朽化が進んでいる空調設備等の更新（中央公民館）、調理実習室の配管等の改修（浅羽野公民館）、1階ロビーの照明器具のLED化（勝呂公民館）、各公民館（勝呂公民館を除く。）の講堂への冷風機の導入（計7台）等により、公民館利用者の快適性の向上を図っています。 | | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | | |
| 設計 | 1件 | | 1件 | | |
| 工事 | 5件 | | 5件 | | |
| 指標に対する達成度 | <ul style="list-style-type: none"> 設計：100% 工事：100% | | 目標どおり達成できました。 | | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】空調設備等の更新により、ランニングコストの削減が実現できました。また、照明器具のLED化は、光熱費の削減に寄与し、コストの面からも有効であると考えます。市の公民館は老朽化が進んでいるものが多く、利用者から改善を求める声が多く寄せられているため、計画的に改修を行っていく必要があります。 | | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 | |
| | 高い | 高い | 効率的である | 継続 | |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】公民館は、地域住民にとって最も身近な学びの拠点であるとともに、コミュニティの中心的存在であり、地域の防災拠点です。市が目指す安全・安心のまちづくりの一環としても、老朽化が進む公民館の施設及び設備の改修又は更新を計画的に進める必要があります。 | | | | |

| | | | | |
|-----------|--|-----|-------------------|-------|
| 事業名 | 地域人材を活用した学習支援事業 | | 所管 | 社会教育課 |
| 事業内容 | 教員経験者、学生等の地域の人材の協力により、学習支援事業「学力のびのび塾」を実施します。小学校の4年生は3年生の、5年生は4年生のドリル（国語及び算数）に取り組み、分からないところを学習支援員が個別に指導を行います。 | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | |
| 実施教室数 | 15教室 | | 13教室 | |
| 参加児童数 | 225人 | | 196人 | |
| 指標に対する達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・実施教室数：86.7% ・参加児童数：87.1% | | おおむね目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】児童の基礎学力の定着及び向上に寄与し、並びに地域の人材を活用することで活力のある地域づくりの一助となっているという点から、事業を継続していく必要があります。 | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 高める余地有 | 継続 |
| | 【外部評価委員からの主な意見】地域の人材を生かした児童への学習支援は、児童の基礎学力の定着及び向上に大きく寄与しています。埼玉県補助金もあり、有効な事業であると思います。 | | | |

2 公民館等の充実

| | | | | |
|-----------|--|-----|-------------------|-------|
| 事業名 | 各種教室・講座等開催事業 | | 所管 | 中央公民館 |
| 事業内容 | 教室・講座の受講を通して教養を育み、及び心身の健康を増進し、もって市民福祉の向上を図ります。さらに、参加者同士の交流を通して、地域のきずな・連帯感を育てることを目標としています。 | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | |
| 講座数 | 80講座 | | 73講座 | |
| 参加者数 | 3,418人 | | 8,369人 | |
| 指標に対する達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・講座数：91% ・参加者数：244% | | おおむね目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】各講座における参加者に対するアンケートにより満足度や問題点を把握しています。内容的にはおおむね良好であり、次回開催を期待している人が多く見受けられます。少子高齢化が進行する中で、地域の公民館としての果たす役割は、ますます重要になっています。今後も事業について調査研究し、関係者・関係団体の協力をいただきながら、事業の充実を図っていきたくと考えています。 | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | 継続 |
| | 【外部評価委員からの主な意見】少子高齢化が進む中、市民が健康で文化的な生活をする上で、地域の公民館の果たす役割は、ますます重要になっています。今後とも、生涯学習の拠点としての公民館の充実を図るとともに、受講者のニーズを把握し、実際生活に即する教養の向上、健康の増進及び生活文化の向上を考慮した事業の実施を望みます。 | | | |

3 図書館の充実

| | | | | | |
|-----------|--|-----|--------|-------------------|-----|
| 事業名 | 子ども読書活動推進事業 | | | 所管 | 図書館 |
| 事業内容 | 子ども達が読書に親しむ機会を提供し、子ども達が自ら進んで読書に親しめるようにします。また、地域、家庭及び学校と連携した推進体制を整備します。 | | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | | |
| 事業参加人数 | 10,000人 | | | 9,218人 | |
| 指標に対する達成度 | ・事業参加人数：92.1% | | | おおむね目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】地域、家庭及び学校における子ども達の読書環境の整備に果たしてきた図書館の役割は大きいと思われませんが、さらに、子ども達の成長に合わせた支援を整える必要があります。 | | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 | |
| | 高い | 高い | 効率的である | 継続 | |
| | 【外部評価委員からの主な意見】読書は、人間の成長や暮らしに大切なものであり、特に乳幼児期の成長には欠かせないものであると思います。子ども達に自ら進んで読書に親しむ機会を提供し、子ども達の読書環境を整備することは、図書館の大きな役割と考えます。今後とも、子ども読書活動推進計画に基づき、地域、家庭及び学校との連携を進めて、啓発事業を継続していくことを望みます。また、ボランティアの養成を継続し、その多方面での活躍を期待しています。 | | | | |

| | | | | | |
|-----------|--|-----|--------|---------------|-----|
| 事業名 | 大川平三郎資料等整備事業 | | | 所管 | 図書館 |
| 事業内容 | 郷土の偉人大川平三郎翁関係資料の収集・整備を行い、顕彰事業を充実させます。 | | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | | |
| 講演会等の実施回数 | 3回 | | | 3回 | |
| 参加人数 | 91人 | | | 91人 | |
| 指標に対する達成度 | ・講演会等の実施回数：100% ・参加人数：100% | | | 目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】故郷坂戸のために様々な貢献をした製紙王大川平三郎の顕彰をしていくことは、市への郷土愛を高めることにつながります。 | | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 | |
| | 高い | 高い | 高める余地有 | 継続 | |
| | 【外部評価委員からの主な意見】叔父に当たる渋沢栄一が新札の肖像に決まったこともあり、大川平三郎への関心もより高まっています。この機会を利用し、大川平三郎関係の資料等を整備し、及び提供して市民の興味や関心をより高めることは、市への郷土愛を高めることにも大いに寄与すると考えます。大川平三郎が印刷されたクリアファイルの活用により、児童生徒が大川平三郎を日々目にしていると聞きますが、大人の方への広報も充実していただければと思います。 | | | | |

基本計画 青少年の健全育成

施策の方針

- 1 健全育成活動の充実
健全育成体制を充実させ、市民と協働して地域環境づくりを推進します。
- 2 健全な家庭づくりの推進
健全な家庭づくりを推進するための啓発活動を行います。
- 3 青少年活動の充実
青少年活動の充実を図り、青少年の地域活動への参加を促進します。

令和元年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

1 健全育成活動の充実

| 事業名 | 青少年健全育成活動推進事業 | | 所管 | 社会教育課 |
|----------------|--|--------|-------------------|-------|
| 事業内容 | 青少年の健全育成を図るため、少年の主張大会、非行防止キャンペーン等の各種事業を実施しています。 | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | |
| 少年の主張大会参加者数 | 250人 | | 234人 | |
| 非行防止キャンペーン参加者数 | 300人 | | 303人 | |
| 指標に対する達成度 | ・少年の主張大会参加者数：93.6% ・非行防止キャンペーン参加者数：101% | | おおむね目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】青少年が健全に成長していくことは、市民全体の願いです。しかし、近年の青少年を取り巻く環境は憂慮すべき状況であり、計画的かつ継続的に各種事業を実施することが必要です。 | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 |
| | 高い | 高める余地有 | 効率的である | 拡充 |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】青少年を取り巻く環境は、近年特に憂慮すべき状況にあります。青少年の健全育成は市民全体の願いであり、今後とも計画的かつ継続的に各種事業を実施していくことが必要です。非行防止や環境浄化の活動に即した事業展開を図っていただき、危機感を持った行政の対応や地域ボランティア活動への行政の理解に期待します。 | | | |

基本計画 文化の振興・保護

施策の方針

1 文化活動の振興

文化施設を拠点とし、芸術文化催事の提供や文化団体の支援など、各種文化事業を文化団体等との連携により促進します。

2 文化財の保護

文化財の調査・保存に努め、活用と市民への公開を推進するとともに、郷土に培われた歴史・文化を保護します。

令和元年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

1 文化財の保護

| 事業名 | 文化財調査事業 | | 所管 | 社会教育課 |
|---------------|---|-----|-------------------|-------|
| 事業内容 | 市内に現存する埋蔵文化財についての確認調査（試掘）を行い、開発行為等により埋蔵文化財が破壊される場合には、記録保存のための発掘調査を実施します。調査結果については、公表（発掘調査報告書の作成等）及び活用（埋蔵文化財出土品展の開催等）を行います。また、市内に現存する歴史資料（古文書、民具等）の調査及び整理作業を行います。 | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | |
| 埋蔵文化財出土品展の開催 | 1回（6日間）出展数：50点 | | 1回（6日間）出展数：74点 | |
| 埋蔵文化財出土品展来場者数 | 500人 | | 362人 | |
| 指標に対する達成度 | <ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財出土品展の開催：100% 埋蔵文化財出土品展来場者数：72.4% | | おおむね目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】埋蔵文化財の保存については、開発の際の事業者との調整時に、調査の必要性を理解していただくように努めています。また、報告書の刊行、展示会の開催等を行うことにより、調査で得られた成果の活用に努めます。 | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 高める余地有 | 継続 |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】市内に現存する歴史資料の調査は、地域の歴史を解明していくという重要な目的があります。市民の共有財産である埋蔵文化財の保存、調査等の報告書や出土品は、市民に公開展示されて有効に活用されていると考えます。毎年定期的に公表されることにより、市民の理解も深められています。今後も開発の際の事業者との調整に慎重に努めていただきたいと思います。 | | | |

| | | | | |
|---------------------|--|-----|---------------|-------|
| 事業名 | 旧勝呂公民館分館解体事業 | | 所管 | 社会教育課 |
| 事業内容 | 旧勝呂公民館分館は、従来、発掘調査により出土した遺物の修復作業場及び郷土資料の活用を図るための事務室として使用してきましたが、建物の老朽化が激しく、周辺住民等の安全確保のため、建物の解体を実施します。 | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | |
| 分館解体撤去及び附属建屋解体撤去の実施 | 1件 | | 1件 | |
| 工期内の工事の実施 | 1件 | | 1件 | |
| 指標に対する達成度 | <ul style="list-style-type: none"> 分館解体撤去及び附属建屋解体撤去の実施：100% 工期内の工事の実施：100% | | 目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】 今回の事業により、周辺環境の安全と住民の安心を確保することができています。旧勝呂公民館分館の跡地には、埼玉県選定重要遺跡である勝呂廃寺の遺跡が埋蔵されていますが、この文化財的価値を最大限に生かして、今後は、敷地の有効な活用の模索・検討をしていきたいと考えます。 | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | 終了 |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】 旧勝呂公民館分館の跡地には、埼玉県選定重要遺跡である勝呂廃寺の遺跡が埋蔵されています。建物の老朽化が激しく、早急な建物の解体が必要でした。解体は、アスベスト等の有害物質の飛散等を防止し、周辺住民等の安全確保に配慮しながら、適切に実施できたと考えます。今後は、敷地の有効な活用を期待します。 | | | |

基本計画 スポーツ・レクリエーション

施策の方針

- 1 スポーツ・レクリエーション活動の充実・支援
生涯スポーツ社会の実現に向け、スポーツ教室・大会等を充実し、スポーツ・レクリエーション団体及び指導者を育成するとともに、施設や団体等の情報提供体制を整備します。
- 2 施設の整備・充実・活用
市民総合運動公園等の社会体育施設の整備・充実はもとより、学校・公民館等の体育施設の有効活用並びに障害者にやさしい施設の整備・充実及び効率的な利用を促進します。

令和元年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

1 スポーツ・レクリエーション活動の充実・支援

| 事業名 | 健康増進施設管理事業 | | 所管 | スポーツ推進課 |
|----------------|--|--------|-------------------|---------|
| 事業内容 | 市民の健康づくりの拠点施設である健康増進施設を有効活用するため、施設の適切な管理を行います。 | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | |
| 改修工事・修繕・備品更新件数 | 1件 | | 5件 | |
| 施設利用者数 | 110,200人 | | 93,262人 | |
| 指標に対する達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事・修繕・備品更新件数：500% ・施設利用者数：84.6% | | おおむね目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】施設の適切な管理により、施設利用者には安全・快適に利用していただけたものと理解しています。また、トレーニング室の器具等の入替えを行い、利便性の向上が図られたものと考えています。しかし、令和元年台風第19号や新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、施設利用者数が目標に達しませんでした。 | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 |
| | 高い | 高める余地有 | 高める余地有 | 継続 |
| | 【外部評価委員からの主な意見】市民の健康づくりの拠点として、施設利用者が安全・快適に利用できるよう、指定管理者と連携し、細心の注意を払って施設の適切な管理をしていただきたいと思います。 | | | |

| | | | | |
|-----------|---|-----|-------------------|---------|
| 事業名 | ニュースポーツ等普及事業 | | 所管 | スポーツ推進課 |
| 事業内容 | より多くの市民の健康の維持・促進、生涯スポーツの推進及び地域コミュニティの活性化を図ることを目的に、子どもから高齢者まで、障害の有無にかかわらず実施できるニュースポーツを普及します。現在は、スポーツ推進委員会を中心にラケットテニスの普及に取り組んでいます。 | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | |
| 事業数 | 4回 | | 4回 | |
| 参加者数 | 300人 | | 251人 | |
| 指標に対する達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業数：100% ・参加者数：83.6% | | おおむね目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】参加者数が目標に達しなかった要因は、ラジオ体操講習会への参加者数の減少によるものですが、ラジオ体操については自主的に取り組む団体も増えていることから、一定の普及が図られたものと考えています。今後は、ラケットテニスを普及するとともに、ウォーキングやラジオ体操に代わる新たな種目の普及を検討していきます。 | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | 継続 |
| | 【外部評価委員からの主な意見】ニュースポーツは、子どもから高齢者まで、障害の有無にかかわらず実施でき、多くの市民の健康の維持・促進に効果を上げています。また、高齢者が自主的にウォーキングやラジオ体操を行い、日々の生活習慣となっていることは、地域コミュニティの活性化にもつながっています。今後も子どもから高齢者まで幅広い年代が男女を問わず参加できる種目を検討し、その普及につなげていただきたいと思います。 | | | |

| | | | | |
|-----------|--|-----|---------------|---------|
| 事業名 | 関東古希・還暦野球大会実施事業 | | 所管 | スポーツ推進課 |
| 事業内容 | 健康体力づくりや生涯スポーツの推進を図るという観点から、古希・還暦野球大会を開催しています。市と実行委員会との間で大会実施委託契約を締結し、古希野球大会については7月、還暦野球大会については9月を目途に開催しています。 | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | |
| 大会実施回数 | 2回 | | 2回 | |
| 参加チーム数 | 56チーム | | 56チーム | |
| 指標に対する達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・大会実施回数：100% ・参加チーム数：100% | | 目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】60歳以上の方に野球に取り組む機会を提供することは、健康体力づくりや生涯スポーツの推進にとって有意義なことと考えます。また、同世代の人々のスポーツを通じた健康志向の高まりに寄与すると考えます。 | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | 継続 |
| | 【外部評価委員からの主な意見】社会の高齢化が進む中、高齢者が野球に取り組み、活躍の場があるということは、素晴らしく、古希・還暦野球大会を実施することは、健康体力づくりと生涯スポーツの推進に大きく寄与していると考えます。また、実行委員会による大会運営が行われ、市民主導で実施されているということは、市民協働が効率的に実施されているものと思います。 | | | |

| | | | | |
|-----------|---|--------|-------------------|---------|
| 事業名 | 障害者スポーツ振興事業 | | 所管 | スポーツ推進課 |
| 事業内容 | 障害者がスポーツを行うきっかけづくりとして障害者ふれあいスポーツ大会を実施しています。風船バレー、大玉おくり等のチーム対抗種目及びダンスのようなレクリエーション要素のある種目を取り入れています。スポーツを通じて、全ての人が障害の有無にかかわらず親睦を深め、もって相互理解の促進を図っています。 | | | |
| 指標 | 元年度目標 | | 元年度実績 | |
| 大会実施回数 | 1回 | | 1回 | |
| 参加者数 | 250人 | | 240人 | |
| 指標に対する達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・大会実施回数：100% ・参加者数：96% | | おおむね目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 【評価、意見等】障害者スポーツの推進や相互理解の促進については積極的に実施できていますが、一部の協力団体との連携が困難となったため、他事業との統合等を見据えて検討していきます。 | | | |
| 外部評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 方向性 |
| | 検討の余地有 | 高める余地有 | 高める余地有 | 改善・効率化 |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】障害者がスポーツを通じて、健康の保持増進を図り、親睦を深めることは、極めて大切です。一方で、一部の協力団体との連携が困難となったことは、残念です。しかし、今後は、過去の経験を生かし、より良い組織や運営方法を検討して、障害者団体連絡会を主体とする大会が開催されることを望みます。 | | | |

総合教育会議等の状況

1 総合教育会議の開催状況

| 開催日 | 内 容 |
|------------|-------------------|
| 令和元年6月27日 | 携帯電話の使用についての現状と課題 |
| 令和元年9月25日 | 相談体制の充実について |
| 令和元年12月19日 | 公民館の地域交流センター化について |
| 令和2年3月26日 | 坂戸市教育大綱（案）について |

2 教育委員会会議の開催状況

- ・議案数 53件（原案可決53件）
- ・専決処理 6件

| 開催日 | 内 容 |
|------------|--|
| 平成31年4月18日 | 平成31年度坂戸市教育行政重点施策の策定について |
| | 坂戸市立中学校部活動指導員の委嘱について |
| 平成31年4月26日 | 県費負担教職員の人事に関する内申について |
| 令和元年5月16日 | 令和元年度一般会計教育費補正予算について |
| | 坂戸市立中学校部活動指導員の委嘱について |
| | 坂戸市社会教育委員の辞職について |
| | 坂戸市社会教育委員の委嘱について |
| | 坂戸市立公民館運営審議会委員の委嘱について |
| 令和元年6月27日 | 坂戸市立同和対策集会所運営委員会委員の委嘱について |
| | 坂戸市立北坂戸公民館非常勤職員の委嘱について |
| | 坂戸市立図書館協議会委員の辞職について |
| | 坂戸市立図書館協議会委員の委嘱について |
| | 坂戸市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について |
| 令和元年7月22日 | 坂戸市立小・中学校学区審議会委員の委嘱について |
| 令和元年8月9日 | 平成30年度一般会計教育費決算について |
| | 令和元年度一般会計教育費補正予算について |
| | 坂戸市立幼稚園授業料徴収条例の一部を改正する条例の制定について |
| | 坂戸市スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例の制定について |
| | 坂戸市社会教育委員の辞職について |
| | 坂戸市社会教育委員の委嘱について |
| | 平成30年度教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について |

| | |
|------------|---|
| | 令和2年度使用小学校用教科用図書の採択について |
| | 令和2年度使用中学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く。）の採択について |
| 令和元年9月25日 | 令和2年度当初坂戸市立小・中学校教職員人事異動の方針について |
| | 坂戸市立浅羽野公民館非常勤職員の委嘱について |
| 令和元年11月7日 | 令和元年度一般会計教育費補正予算について |
| | 坂戸市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| | 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について |
| | 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| | 坂戸市社会教育指導員に関する規則の一部を改正する規則の制定について |
| 令和元年12月19日 | 坂戸市立図書館運営規則の一部を改正する規則の制定について |
| 令和2年1月21日 | 坂戸市立公民館運営審議会委員の辞職について |
| | 坂戸市立公民館運営審議会委員の委嘱について |
| 令和2年2月7日 | 令和元年度一般会計教育費補正予算について |
| | 令和2年度一般会計教育費当初予算について |
| | 令和2年度当初坂戸市立小・中学校校長の人事について |
| | 坂戸市立中学校部活動指導員設置規則の一部を改正する規則の制定について |
| | 坂戸市公民館推進員設置要綱の制定について |
| 令和2年3月26日 | 坂戸市教育委員会職員の任免について |
| | 坂戸市立小・中学校学校医の辞職について |
| | 坂戸市立小・中学校学校医の委嘱について |
| | 坂戸市立小・中学校学校歯科医の辞職について |
| | 坂戸市立小・中学校学校歯科医の委嘱について |
| | 坂戸市立入西小学校産業医の委嘱について |
| | 坂戸市文化財保護審議会委員の委嘱について |
| | 坂戸市スポーツ推進委員の委嘱について |
| | 坂戸市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について |
| | 坂戸市教育委員会事務決裁規則の一部を改正する規則の制定について |
| | 坂戸市立幼稚園授業料徴収条例施行規則の一部を改正する規則の制定について |
| | 坂戸市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について |
| | 坂戸市立図書館処務規則の一部を改正する規則の制定について |

| |
|------------------------------------|
| 坂戸市立学校教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について |
| 坂戸市指定文化財の指定について |

○専決処理

| 専決処理日 | 内 容 |
|-----------|-----------------------|
| 平成31年4月1日 | 坂戸市教育委員会職員の任命について |
| 令和元年5月30日 | 坂戸市教育委員会職員の解任について |
| 令和元年5月31日 | 坂戸市立小・中学校学校薬剤師の辞職について |
| 令和元年5月31日 | 坂戸市立小・中学校学校薬剤師の委嘱について |
| 令和元年12月1日 | 坂戸市立小・中学校学校薬剤師の辞職について |
| 令和元年12月1日 | 坂戸市立小・中学校学校薬剤師の委嘱について |

3 教育委員会協議会の開催状況

○協議事項及び報告事項

| 開催日 | 内 容 |
|------------|----------------------------------|
| 平成31年4月18日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 平成30年度坂戸市いじめ等の防止に関する調査結果について |
| | 平成30年度不登校児童生徒数について |
| | 平成30年度児童生徒の交通事故について |
| | 平成31年度坂戸市立教育センター教育相談員等について |
| | 平成31年度学校教育課ランドデザインについて |
| | 第18回坂戸市民スポーツフェスティバルについて |
| | 春の図書館まつりについて |
| 令和元年5月16日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 教科書採択並びに教科書展示会について |
| | 第4回伝統芸能発表会について |
| | 「学力のびのび塾」の募集結果について |
| | 第18回坂戸市民スポーツフェスティバルの結果について |
| | 平成30年度公民館・地域交流センター事業報告書について |
| | 令和元年度公民館・地域交流センター事業計画書について |
| | 令和元年度公民館・地域交流センター定期利用団体一覧表について |
| 令和元年6月27日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の概要について |

| | |
|-----------|--|
| | 坂戸子ども議会の開催について |
| | 第4回伝統芸能発表会の開催結果について |
| | 春の図書館まつり開催結果について |
| | 第6回「坂戸市図書館を使った調べる学習コンクール」の開催について |
| | 第36回坂戸市レクリエーションスポーツ大会結果について |
| | 第6回坂戸市障害者ふれあいスポーツ大会結果について |
| | 市民プールオープンについて |
| | 第4回坂戸市長旗関東古希軟式野球大会の開催について |
| | 第4回坂戸市ラケットテニス大会結果について |
| | 幼児教育の無償化について |
| | 6月議会定例会市政一般質問・答弁概要について |
| 令和元年7月22日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 勝呂廃寺の発掘調査について |
| | 夏の図書館まつり開催について |
| | 令和2年度学校給食費の改定について |
| 令和元年8月9日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 令和2年度当初予算要求に関する実施計画書について |
| | 第23回坂戸市埋蔵文化財出土品展の開催について |
| | 第4回坂戸市長旗関東古希軟式野球大会結果について |
| | 第15回坂戸市長旗関東還暦軟式野球大会の開催について |
| | 令和元年度地区市民体育祭について |
| | 令和2年坂戸市成人式について |
| | 夏の図書館まつり開催結果について |
| 令和元年9月25日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 令和元年度坂戸子ども議会について |
| | 坂戸市要保護者及び準要保護者児童生徒就学援助費の支給等に関する要綱の一部改正について |
| | 第23回坂戸市埋蔵文化財出土品展の開催結果について |
| | 勝呂廃寺発掘調査結果について |
| | 令和元年度坂戸市民プール入場者数について |
| | 第19回坂戸市民チャリティマラソンについて |
| | 令和元年度公民館・地域交流センター文化祭について |
| | 図書館利用券の更新について |
| | 令和元年度地区市民体育祭プログラムについて |

| | |
|-------------------------|---|
| | 9月議会定例会市政一般質問・答弁概要について |
| 令和元年10月23日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 歴史民俗資料館文化財めぐり「家族でめぐろう 坂戸の歴史と文化財」の開催について |
| | 令和元年度地区市民体育祭の結果について |
| | 秋の図書館まつりについて |
| | 台風第19号の被害等の状況について |
| 令和元年11月7日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 第6回坂戸市図書館を使った調べる学習コンクールの結果について |
| | 第19回坂戸市民チャリティマラソン大会の中止について |
| | 台風第19号による避難所の閉鎖について |
| 令和元年12月19日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 令和2年度坂戸市立末広幼稚園園児（4歳児）募集結果について |
| | 令和元年度少年の主張大会の結果について |
| | 坂戸市スポーツ推進審議会委員の公募について |
| | 高麗川ふるさと健康ウォーキングの実施について |
| | 令和元年度公民館・地域交流センター文化祭の結果について |
| | 秋の図書館まつりの結果について |
| | 東京2020オリンピック聖火リレーのコース等の公表について |
| | 12月議会定例会について |
| | 令和2年坂戸市成人式式典登壇者について |
| | 令和2年1月21日 |
| 令和2年坂戸市成人式の結果について | |
| 少年の主張大会発表記録集について | |
| 12月坂戸市議会定例会 市政一般質問・答弁概要 | |
| 令和2年2月7日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 令和元年度小・中学校卒業式の日程及び出席者について |
| | 「坂戸市の学校教育の在り方」に関する提言書について |
| | 第19回坂戸市民スポーツフェスティバルについて |
| 令和2年3月26日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 令和2年度坂戸市教育行政重点施策（案）について |
| | 令和2年度始め式及び辞令交付式について |
| | 坂戸市立小・中学校教職員の働き方改革基本方針について |
| | 坂戸市立小・中学校の通学区域について（答申） |

| | |
|--|----------------------------|
| | 令和元年度学力のびのび塾の結果について |
| | 多子世帯学校給食費軽減事業の補助対象者の拡大について |
| | 3月議会定例会市政一般質問・答弁概要について |

4 教育長及び教育委員が構成員として会議、視察研修等に出席した各種連合会、協議会等

- ・全国都市教育長協議会
- ・関東地区都市教育長協議会
- ・埼玉県都市教育長協議会
- ・埼玉縣市町村教育委員会教育長研究協議会
- ・埼玉縣市町村教育委員会連合会
- ・埼玉縣市町村教育委員会教育委員研究協議会
- ・西部教育事務所管内市町村教育委員会教育長会議
- ・入間地区教育委員会連合会
- ・入間北部教育委員会連絡協議会
- ・入間・比企地区合同教育長・教育委員研修会

5 教育委員出席の主な行事等

- ・年度始め式及び辞令交付式
- ・小中学校入学式
- ・小学校運動会
- ・中学校体育祭
- ・中学校文化祭
- ・地区体育祭
- ・公民館文化祭
- ・子ども議会
- ・小中学校音楽祭
- ・成人式

◆ 結びに

教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価については、平成20年度から、坂戸市総合振興計画に掲げられた教育委員会所管の事務事業を対象として実施してまいりました。

今年度の点検評価は、第6次坂戸市総合振興計画後期基本計画の令和元年度を取組を対象といたしました。その結果、全19の施策における各事業が着実に取り組まれていることを確認しました。ここで改めて確認した成果や課題、今後の方向性を基に、今年度の事業を推進してまいります。

中には、目標を達成できなかった指標がありましたが、改善に努め、目標値の達成を目指してまいります。

本市教育委員会では、「学び合い交流する人づくりのまち」を教育の基本理念として掲げ、子どもから高齢者までの誰もが学び合い、伝統と文化を伝える機会や、交流活動のできる場所づくりを支援してまいります。

最後に、貴重な御意見や御提言をいただきました外部評価委員のお二方に、心からお礼申し上げます。